

2017年7月12日、米国のeMotorWorks社は、Share&Chargeブロックチェーン取引プラットフォームとの協業を発表した。eMotorWorksが製造販売する充電機器を活用して、北米にてShare&Chargeを導入する実証を行う。開始は2017年8月1日。

以下に、北米初のShare&Charge導入の概要についてまとめる。

【eMotorWorksの事業について】

eMotorWorksは、EV充電用機器を製造・販売している企業である。なお、ハードウェア（充電器）だけでなく、充電管理用のソフトウェア（クラウドアプリ）も開発・販売している。



図. eMotorWorks社のEV充電器 JuiceBox および管理アプリ

(出典：eMotorWorks HP)



図. eMotorWorks社のEV充電アダプタ JuicePlug および接続相手になるJ1772規格アダプタ

(出典：eMotorWorks HP)

主力製品は、「JuiceBox」EV 充電器と、充電管理クラウドサービスの「JuiceNet」。そして J1772 規格の充電アダプタに取り付ける後付けタイプの「JuicePlug」。価格は、以下の通り。

- JuiceBox Pro 40 Lite（充電器のみ, 40A） \$638 → \$579
- JuiceBox Pro 40 with JuiceNet（40A） \$788 → \$629
- JuiceBox Pro 75（75A） \$1199 → \$899
- JuicePlug \$249 → \$199

【Share&Charge との協業】

eMotorWorks は、Share&Charge のスマートフォンアプリをサービスのフロントエンドに用い、点在する充電ステーションの充電料金や開店時間を表示する。充電 EV や PHEV のドライバーは、このアプリで近くの充電機器を見つけて、充電中に有意義な時間を過ごせる。

今回開始された実証は、基本的に eMotorWork の JuiceNet で高速充電ができる機器を持つ、カリフォルニアのオーナーのみが対象となる。ただし、JuiceNet に対応していない充電機器でも、J1772 型充電器に後付けするタイプの JuicePlug 充電アダプタを持っていれば対象となる。

充電機器オーナーの登録を募っているが、システムの規模的な制約上、限定的に登録を受け付けている。

Share&Charge の Dietrich Sümmerman は、今回の連携の効果について以下のように述べている。

「EV 充電ステーションをシェアしたいと考える個人間ネットワークを確立することで、我々は EV ドライバーにより多くの充電手段を提供するだけでなく、充電ステーションのオーナーが十分な対価を受け取れるようにできる。」

昨年のサービス開始から、すでにドイツでは 1195 の充電機器オーナーが登録されている。

Charge with Share&Charge at

1195

charging stations in Germany!



Join the Share&Charge Community!



図. Share&Charge の充電スタンド数は 1195 に達している

(出典：Share&Charge HP)

【カリフォルニアのEV普及状況と充電インフラ】

カリフォルニアでは、充電可能な電気自動車やプラグインハイブリッド車がこれまで30万台販売されている。

これに対し、公衆用の普通充電器（Level 2）は10,000台、急速充電器は1500台となっている。このShare&Chargeによって家庭などが所有する充電器が一般に開放されるようになると、さらなる充電インフラの拡充が可能となる。

以上